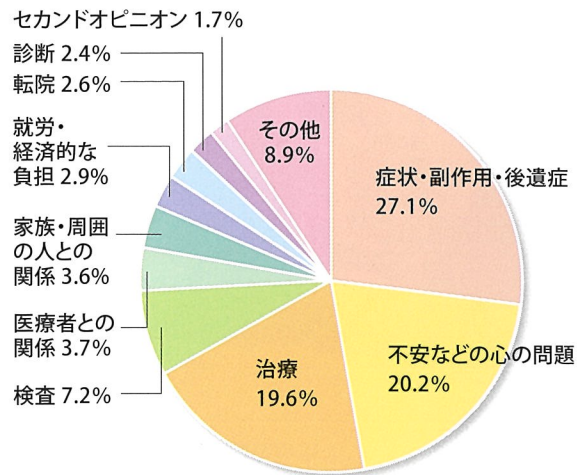


## 〔相談の内訳〕



## ✔ホットラインに、相談をいただいた方からの声

がん患者の家族です。きょうは話を聞いてくれてありがとうございました。患者本人からも電話をさせていいですか。

話をゆっくり聞いてくれたので、気持ちが落ち着きました。

必要な情報が得られてよかった。

どの治療を受けるか迷っていましたが、何をポイントに決めたらいいか教えてくれました。また、とても良く話を聞いてくれました。

頭の中で考えていたことを、一つ一つ整理してくれました。

## — そのほかの相談 —

面接  
電話

### 専門医によるがん無料相談

- 相談時間：面接30分 電話20分
- 会場：東京・日本対がん協会

電話

### 社会保険労務士による就労相談

- 相談時間：40分

※いずれも無料でご相談をお受けします。  
※事前に電話でご予約下さい。

予約  
専用

# 03-3541-7835

予約受付：毎週月～金曜（祝日を除く）午前10時から午後5時まで

公益財団法人

## 日本対がん協会

〒104-0061  
東京都中央区銀座7-16-12 G-7ビル9階  
TEL:03-3541-4771 FAX:03-3541-4783

<http://www.jcancer.jp/>

■■■■■ 私たちの活動はみなさまのご支援で成り立っています ■■■■■

寄付の振込先

(口座名) 公益財団法人日本対がん協会

#### ★郵便局の場合

郵便振替口座：00180-1-5140  
—振り込み手数料無料—

#### ★銀行の場合

三井住友銀行	丸ノ内支店	普通預金 0518150
みずほ銀行	銀座支店	普通預金 1003855
三菱東京UFJ銀行	京橋支店	普通預金 1718240

★オンライン募金 〈ホームページから、お手持ちのクレジットカードで募金ができます〉

<http://www.jcancer.jp/> へ、アクセス。  
[今すぐ寄付] をクリックしてください。

公益財団法人日本対がん協会は、検診の推進や患者さんのQOL改善のための活動を通じ、がんを征圧することを目指して、1958年に創立された民間団体です。

2017.10-105000

## 日本対がん協会の電話相談

「がん」の悩み  
ご相談ください

毎日  
(祝日を除く)

午前10時から  
午後6時まで

無料

# がん 相談 ホットライン

# 03-3541-7830

予約不要・秘密厳守

2017年  
11月26日より  
移転のため電話番号が  
変わります。  
移転前のご相談は  
下記におかけください。  
03-3562-7830



公益財団法人

日本対がん協会

電話  
相談

# がん相談ホットライン

がんの患者さんやご家族、大切な人からのご相談を看護師と社会福祉士が無料でお受けします

がん相談



# 03-3541-7830

〔相談日時〕  
祝日を除く毎日  
午前10時から  
午後6時まで

看護師と社会福祉士が、  
あなたと一緒に考えます。



例えば…こんなときにお電話下さい。

今後の生活やお金のことが  
心配なので、話を聞いて欲しい。

抗がん剤の副作用が不安です。

担当医から緩和ケアを勧められたのですが、  
まだ治療を続けたい。



家族にできることは  
何でしょう。

- ※予約は不要です
- ※相談は匿名で結構です
- ※相談内容の秘密は厳守します
- ※電話代は相談者の負担になります
- ※相談時間は原則20分です

一緒に考えます。

セカンドオピニオンを  
受けたいのですが、  
担当医に言い出しにくい。

ホットラインでお受けした電話から…

今日、病院でがんと診断されました。少し話を聞いてほしい。

手術後の職場復帰のことが心配です。職場の人にどのように  
伝えたらいいのかわからない。

いろいろ担当医に質問したい  
ことがあるのですが、聞きづらく  
て困っています。

手術まで1ヵ月あります。  
がん細胞が広がるのではないかと不安です。



question and answer.

**Q** 相談内容が  
もれることはありませんか？

**A** 相談の秘密は厳守します。  
なお、相談内容については、日本対がん協会が個人を特定しない統計情報として使用する場合がありますのでご了承ください。

**Q** ホットラインで治療に関する  
相談はできますか？

**A** ホットラインは、看護師と社会福祉士  
が対応しますので、担当医にかわる  
ことはできません。セカンドオピニオン  
に準ずることはしません。  
あなたの治療に関する考えを整理し  
たり、がんと付き合っていくための工夫  
を一緒に考えることはできます。